

～廃棄物事業を先端産業へ～

昭和26年の創立以来、永年にわたって廃棄物処理に携わってきた当社は、これまで裏方のイメージで捉えられがちだった廃棄物処理を時代の先端産業と考え、適正処理とリサイクルに関する新技術、新手法を積極的に取入れています。

リサイクル施設の設立・運営はその一環であり、また、環境に関するISO14001及び情報セキュリティに関するISO27001の認証取得を通じ、多様なニーズにきめ細かくお応えしながら、快適でクリーンな、住みよい環境づくりを推進し、循環型社会形成及び安心・安全な情報化社会形成へのより一層の貢献を目指しています。

「トピックス」

- 1.表紙 当社の仕事
- 2.本業としての取組み
- 3.持続可能な社会への貢献
- 4.さいごに

問われ始めた廃棄物への企業責任

本格的循環型社会に向けた排出者責任の拡大

地球環境汚染に関する懸念の深刻化

情報社会の中で、機密漏洩への不安増大

三東運輸の適正・確実な処理

三位一体の一貫体制

収集

運搬

処分

柔軟な収集対応

迅速・正確な運搬

徹底した再資源化

適正・確実な処分

三東運輸がご提供する3つの貢献

■本格的な循環型社会における企業責任への寄与
■情報化社会における機密漏洩防止

社会的な貢献

環境への貢献

お客様への貢献

■顧客の企業環境へのきめ細かな対応
■地球環境の保全に向けた自負の醸成

廃棄物処理の企業責任が注目されるようになった今日、当社では、お客様に安心して産業廃棄物・事業系一般廃棄物の処理をご依頼いただくため、以下のような適正処理方法を掲げ、企業のお客様をごみ処理面からサポートさせていただきます。

「三東運輸の3つの貢献」

◇お客様への貢献◇

- ・適正・確実な処理実績
- ・柔軟な収集対応
- ・ISO14001/ISO27001認証取得

◇社会的な貢献◇

- ・交通安全
- ・情報化社会で機密処理
- ・地域社会との連携

◇環境への貢献◇

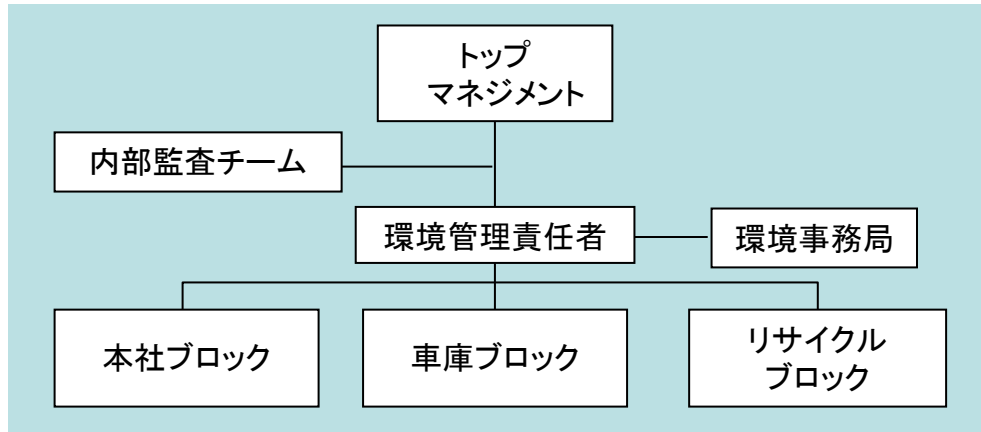
- ・徹底した再資源化
- ・迅速・正確な運搬
- ・地域美化への貢献

■排出方法から、法的処理責任まできめ細かなサポート
■契約書・マニフェストなど書類作成の円滑化

本業としての取組み

「環境への推進体制」

全社で環境の取組み推進するために、ISO14001環境マネジメントシステムを導入し、PDCAサイクルを活用した運用を行っています。また、第三者機関の外部審査による認証を受けています。



EMS548183/
ISO14001:2015



「環境配慮への取組み状況」

【収集・運搬業務】

収集・運搬業務では、事故防止の取組みをはじめ、省エネ運転に努め、デジタルタコメーターの分析等により燃費向上・低公害（NOx:窒素酸化物の削減）を図っています。また、低公害車の導入を積極的に進め、燃費向上と省エネに努めています。

車両の環境配慮	2016年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ガソリン車燃費向上 [ガソリン]	— (10.23km/ℓ)	- 0.10% (10.22km/ℓ)	+ 3.23% (10.56km/ℓ)	+ 5.67% (10.81km/ℓ)	+0.98 % (10.33km/ℓ)
排気ガスNOxの削減率 [軽油/LPG/CNG] (NOx排出量)	— (1.32kg/台)	- 33.3% (0.88kg/台)	- 34.1% (0.87kg/台)	- 35.6% (0.85kg/台)	-43.1% (0.75kg/台)
低公害車・低燃費車導入率 [自動車環境管理実績報告書]	7.9%	8.64%	15.43%	18.54%	21.54%

◆目標達成への計画◆

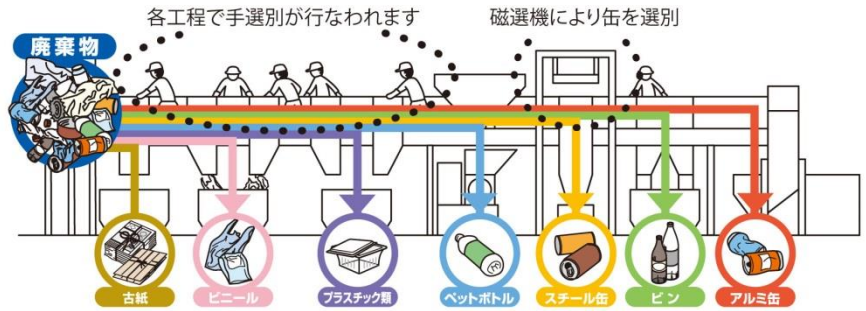
目標	内容
①ガソリン車燃費の向上	2016年比、1台当たり 1.5% 向上
②排気ガスNoxの削減	2016年比、1台当たり 10% 削減
③低公害車導入の向上	2026年末までに 30% 導入

手段	具体的な内容	実施時期
エコドライブの推進	毎月車両別実績を分析し、目標に対する各自の進捗状況を管理する。	毎月
デジタルタコメーター・ドライブレコーダーの活用	毎週定期的に車両ごとに内容を分析し、安全運行管理および経済走行指導に活用する。	毎週
ヒヤリ・ハットチェックシートの提出活動	運転者よりチェックシートを回収し、状況を確認・記録し、研修会へ活用する。	1回/3ヶ月 (研修会)
低公害車の導入	導入車両は特定低公害・低燃費車両を導入する。	随時

本業としての取り組み

【リサイクル業務】

人による手選別と機械による磁力選別な分別された廃棄物を確実にリサイクルできるシステムにより、高いリサイクル率を実現しています。



リサイクル率	2010年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
リサイクル率(%)	81.8%	97.5%	99.1%	98.0%	98.4%
向上率(%) (2010年度比)	-	+15.7%	+17.3%	+16.2%	+16.6%

【電気・ガスの使用（全社）】

電力・ガス使用量は、新木場工場が本稼働した2014年度を基準に削減目標を設定しました。8年間で各事業所にて設備機器も増えましたが、2022年度は-16.2%を達成しました。

電気・ガスの使用	2014年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
エネルギー使用量 (GJ)	3,544	3,537	3,256	3,179	2,969
削減率(%) (2014年度比)	-	-0.2%	-8.1%	-10.3%	-16.2%

【温室効果ガス排出量】

環境負荷低減の目標として、全社における温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいます。2020年度はコロナ禍による収集運搬業務の繁忙から軽油使用量が増加、2021年度はコロナ前に戻りましたが、2022年度は業務の繁忙から再び増加に転じてしまいました。今後も燃費の良い運転を心掛け、計画的に低燃費車を導入することで、全社における温室効果ガスの排出量削減に努めます。



温室効果ガス排出量	2006年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
CO ₂ 換算(tCO ₂)	1,728	1,598	1,782	1,581	1,667
削減率(%) (2006年度比)	-	-7.5%	3.1%	-8.5%	-3.5%

※CO₂換算には、東京都が定める温室効果ガス量算定基準を使用。

◆目標達成への計画◆

目標	温室効果ガス排出量の削減：2022年度末までに6%削減（2006年度比）	
手段	具体的な内容	実施時期
省エネ活動の推進	エネルギーの使用量の実績を分析し、目標に対する進捗状況を管理する。	毎月
作業効率化	各業務において、運行経路やリサイクル業務、事務作業の効率化を図る。	毎日
施設・設備の更新	施設・設備の更新を検討し、省エネタイプの導入を優先する。	随時

持続可能な社会への貢献

「SDGs（エスディーゼーズ）について」

SDGs（エスディーゼーズ）は、2015年9月に国連サミットで採択された2030年までの国際社会共通の目標、「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals：SDGs）のことです。

SDGs（持続可能な開発目標）は、環境・経済・社会について17のゴール・169のターゲットから成り、「地球上の誰一人として取り残さないこと」を誓っています。

当社は、快適でクリーンな住みよい環境づくりを推進し、循環型社会形成及び安心・安全な情報化社会形成へより一層貢献すべく、SDGsの取り組みを進めています。



事業を通しての貢献

廃棄物の適切な処理

一般廃棄物と産業廃棄物の収集運搬・処分を円滑かつ確実に実施することで、地域の衛生環境に貢献しています。



ターゲット 11.6, 12.4, 17.17

リサイクルを行い、資源を有効利用

蛍光管や古紙、ビニール等の10種類以上のリサイクルを行い、廃棄物の大幅な削減と資源の有効利用に貢献しています。



ターゲット 9.4, 12.5

交通安全・事故防止への取り組み

デジタルタコメーターやドライブレコーダーの情報を分析し、安全運行管理指導へ活用することで、道路交通安全・事故防止に努めています。



ターゲット 3.6

低排出ガス車の導入と低燃費走行の実施

低排出ガス車の導入率9割の達成に加え、デジタルタコメーターのアラート機能を活用した運転により、効率的なエネルギー利用に努めています。



ターゲット 7.3, 12.2, 12.4

タブレットの活用による紙面利用削減

収集運搬業務では、タブレットを活用し運搬に必要な伝票類の紙を減らしました。業務の省資源化と、情報セキュリティ対策の推進に貢献しています。



ターゲット 12.2

従業員に対する取り組み

社内教育訓練の実施

全従業員対象に、環境・社会への取り組みや情報セキュリティに関する教育を定期的に行う等、業務に必要な知識のとスキルの習得に積極的に取り組んでいます。



ターゲット 4.4

障害者雇用への取り組み

国の制度に則り、2.3%の障害者雇用率を達成しています。現場の作業員として、廃棄物の選別や積込み作業を行い、活躍しています。



ターゲット 8.5, 10.2

女性の働きをサポート

現場での女性の積極採用を行うとともに、女性用トイレの設置といった働きやすい環境の整備に努めています。



ターゲット 5.1, 8.5

持続可能な社会への貢献

社会に対する取組み

交通遺児育英会への寄付

当社の業務は道路交通安全に密接に係わっています。交通事故により保護者に頼れなくなった子供を支えたいとの思いで、寄付を行っています。



ターゲット 1.2

ユニセフ・マンスリーサポート・プログラムへの寄付

約10年間にわたり、世界の子供たちの命と成長を支えるために寄付を行い、国際協力の拡大に貢献しています。



ターゲット 1.1, 2.1, 3.2, 3.3, 6.1, 6.a, 6.b

サステナブル経営に取り組む企業を選択

「マングローブ価値共創100年宣言」など、環境や社会に対する持続可能な取組みに、積極的に挑戦している東京海上日動を保険会社として選んでいます。



ターゲット 15.2, 15.5

災害協定の締結

災害時の応急支援を担うため、当社の新木場工場は隣接する航空警察隊と災害協定を締結し、災害への適応力強化に貢献しています。



ターゲット 11.b, 13.1

地域の防犯・テロ対策への協力

地区特防協の会員企業となり、地区の警察署と連携しながら特殊暴力の排除及び対策を推進しています。



ターゲット 16.5, 17.17

地域の環境啓発活動への参加

「江戸川区環境フェア」や「環境フェスタたいとう」では、リサイクル製品や廃棄物処理に関するパネルの展示等を通じて、地域の方へ取組みを紹介しています。



ターゲット 4.7, 13.3

当社ではSDGsの17のゴールのうち、16のゴールに対する取組みを行っています。今後も廃棄物の適正処理、排出量の削減と再資源化を軸に、持続可能な社会の実現に挑戦してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



当社では、SDGsに取り組む上で最も重要なことは

従業員一人ひとりが環境意識を持ち、日々の業務を通じて取り組んでいく

ことであると考えています。

そのため、今後も定期的な社内教育や専門教育の実施、地域活動への積極参加により、内外ともに活動を拡げていく取組みをしていきます。

さいごに

機密情報・個人情報保護に関する取組み

当社では、企業様から機密情報廃棄物の収集運搬及び、個人のお客様の廃棄家電（テレビ・冷蔵庫・洗濯機等）の受付業務にて多くの機密情報・個人情報を取り扱っています。そのため、ISO14001に加え、2009年にはISO27001を認証取得しています。

また、収集運搬業務では、タブレットの活用によりお客様情報など伝票の紙をなくしたことで、伝票類の紛失のリスクがなくなりました。また、情報の一元化による情報セキュリティの強化につながりました！安心・確実な情報セキュリティマネジメントシステムにより、今まで以上にお客様の機密書類やデータを社員全員で確実に取り扱うようにしています。



IS543652/
ISO27001:2013

地球温暖化に代表される環境問題は、社会経済活動や生活全般に深くかかわるものです。大都市東京の廃棄物行政の一翼を担う当社としても、率先して環境・社会活動に取り組んでいます。

環境面では、省燃費運転及び事故防止に向けた従業員研修を積極的に行い、効果を上げています。また、全車両にデジタルタコグラフを取り付け、より意識向上を図っています。

社会面では、地域とのコミュニケーションを重視し、各区主催の環境フェア等に毎年積極的に参加してきました。

気候変動や世界情勢の急速な変化により未来は相変わらず不透明ですが、いかなる変化にも的確に対応し、安全・確実でより質の高いサービスを常に提供できるよう体制を備えてまいります。

三東運輸株式会社 代表取締役 田口 裕康

《編集後記》

東京の江戸川区で創業以来70年以上にわたり、地域と共に本業を通して環境・社会への取組みを行ってまいりました。企業活動の説明責任・透明性を高め、これからも従業員が一環となり取組みを行うために「環境CSR報告書」を発行しております。

【問い合わせ先】

三東運輸株式会社 ISO事務局
<https://www.santouunyu.com/>
〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町3-12-6
TEL : 03-3670-3101 FAX : 03-3670-3320

【報告対象】

報告期間：
2022年4月1日～2023年3月31日

対象サイト：
本社・車庫・リサイクル施設

発行日：2023年10月1日